2026 年期　第 4 回課題研究テーマ（東京実務補習所）

28 班～36 班

テーマ	新たなリース会計基準が、いよいよ強制適用の時期を迎えようとしている。 これにより、借手側におけるオペレーティング・リースの原則的なオンバランス化（使用権資産およびリース負債の計上）など、企業の財務および実務に与えるインパクトは極めて大きい。本テーマについて、以下の 3 点について論じなさい。 ① 新たなリース会計基準が開発・導入されるに至った背景と、現行基準からの主要な変更点の概要を簡潔に述べなさい。 ② 新基準の適用が、クライアントの業務プロセスや内部統制、ならびに財務諸表に対して及ぼす影響と、導入準備における実務上の課題を具体的に論じなさい。 ③ 強制適用を目前に控えた監査期において、あなたが監査チームの主査（インチャージ）としてクライアントとコミュニケーションをとる際、どのような指導・助言を行うか。また、適用初年度の監査手続を計画するにあたり留意すべき事項について、自身の実務経験または現場を想定した考察を交えて述べなさい。